

金井東裏遺跡(渋川市)

金井東裏遺跡へはここを入れて行く



みすぼらしいが、「金井東裏遺跡」と書かれた表示があった



金井東裏遺跡の位置



渋川市北橋総合支所(渋川市) 展示資料より

よろい 「甲を着た古墳人」

かないひがしうら
金井東裏遺跡(群馬県渋川市金井)

甲を着た古墳人は、平成24年9月から開始された
国道353号金井バイパス(上信自動車道)建設に
伴う発掘調査で、同年11月19日に発見されました。

このレプリカは、古墳時代
はるなさん
(6世紀初頭)の榛名山の
かさいりゅう
噴火にともなう火砕流に
埋もれた溝から発見され
た姿を実物大で製作し
たものです。



4区



9区



古墳人が見つかった4区

古墳などが見つかった9区

↑
「甲を着た古墳人」出土場所

渋川市北橋総合支所(渋川市) 展示資料より

これは前の写真の「↓」の位置で4区(右手)、9区(左手)を見たところ/発掘調査を終え、道路建設工事が始まっているようだ



左手の9区



右手の4区



これは「→」の位置から4区を見たところ



4区



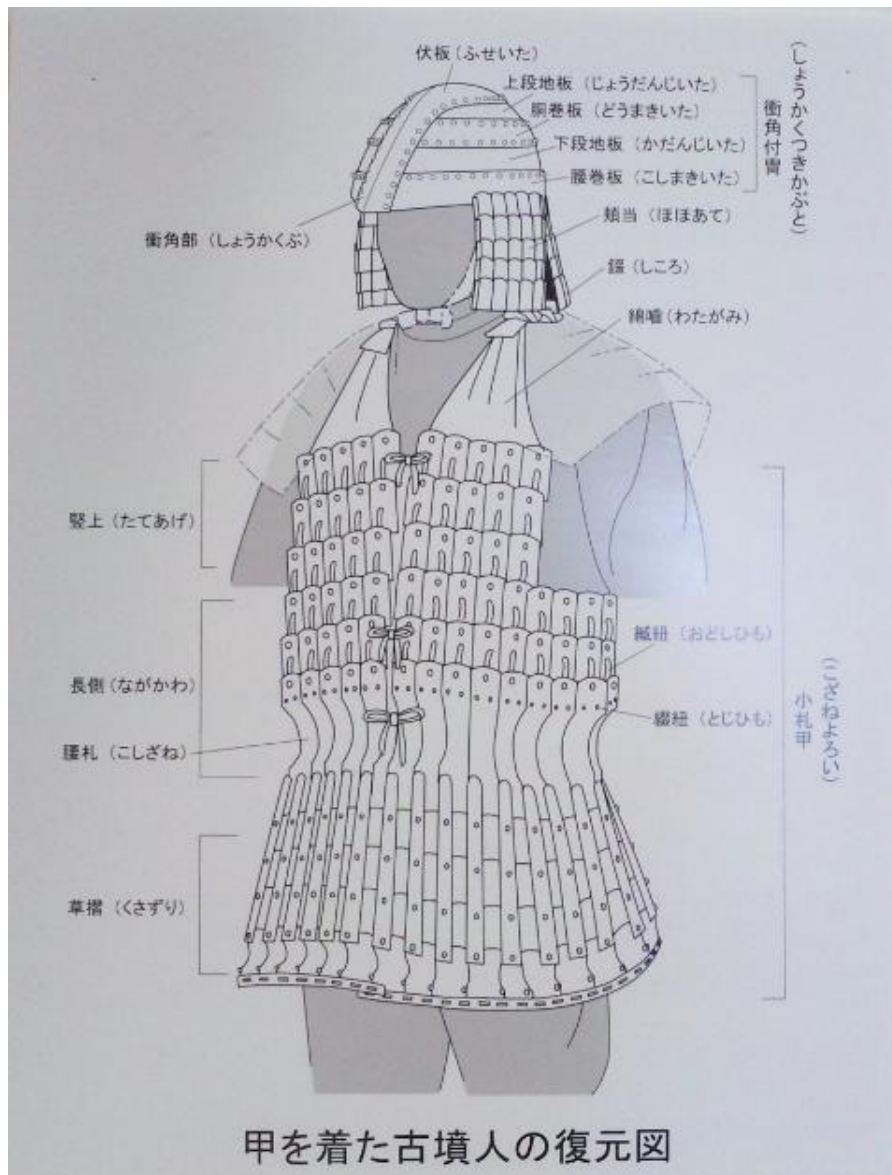
これが「甲を着た古墳人」の発掘状況



渋川市北橋総合支所(渋川市) 展示資料より



渋川市北橘総合支所(渋川市) 展示資料より



埼玉・群馬考古展2014(ピオニウォークにて) 展示資料より



渋川市北橋総合支所(渋川市) 展示資料より



榛名山ニツ岳噴火想像図 (Hr - FA)

渋川市北橘総合支所(渋川市) 展示資料より

榛名山の噴火

榛名山二ツ岳は6世紀代に2度の噴火を起こしました。1度目は6世紀初頭、2度目は6世紀中頃のことです。渋川市内では、この噴火による火山灰や火砕流、軽石、あるいは噴火に伴って起きた洪水に埋もれた遺跡が数多く見つかっています。

■ 榛名山二ツ岳火山灰層(Hr-FA)と遺跡

6世紀初頭に噴火した榛名山二ツ岳の火山灰で、細粒の火山灰、火砕流堆積物、軽石からなる15層のユニットが確認されています。

この噴火による火砕流は、榛名山北東麓から東麓にかけての広い範囲を襲ったことがわかっていて、1991年に噴火した雲仙普賢岳の火砕流より激しい噴火だったと考えられています。

渋川市内ではこの噴火により中筋遺跡の集落が壊滅し、市内各所に広く分布した水田や畠も埋没してしまいました。また、火山灰下からは坂下町古墳群、東町古墳や空沢遺跡の古墳群など多くの古墳が見つかっています。

今回、金井東裏遺跡で見つかった「甲装着人骨」も火砕流の猛威にさらされた被災の一端を垣間見せてくれました。

■ 榛名山二ツ岳軽石層(Hr-FP)と遺跡

6世紀中頃に噴火した榛名山二ツ岳の軽石で、おもに軽石からなる19層のユニットが確認されています。

渋川市内ではこの噴火により黒井峯遺跡の集落が壊滅し、火山灰降下の時と同様に市内各所に広く分布した水田や畠も埋没してしまいました。また、中ノ峯古墳や宇津野有瀬遺跡古墳群など、軽石に埋もれた多くの古墳が見つかっています。





白線でマークされた小さなくぼみが古墳人の足跡です。

参考ホームページ

[http://www.gunmaibun.org/excavation info/kanaiura/iseki/iseki002.pdf](http://www.gunmaibun.org/excavation%20info/kanaiura/iseki/iseki002.pdf)

<http://gpnotebook.gunmablog.net/e296436.html>

<http://members3.jcom.home.ne.jp/yoshi-cp/gsibukanaih.htm>

<http://www.pref.gunma.jp/03/x4500038.html>

